



日 鶏 協 ニ ュ ー ス

一般社団法人日本養鶏協会 2021年8月号

INDEX

・(一社)日本養鶏協会 第72回定時総会 開催.....	1
・杉原 勲 新会長 就任	2
・令和3年度 第1回鶏卵需給見通し検討委員会が開催される －3回目の需給見通しに委員から活発な意見	3
・令和3年度「鶏卵規格取引研修会」開催中止について (中央鶏卵規格取引協議会)	4
・統計データ	5
・協会活動報告	6

(一社)日本養鶏協会 第72回定時総会 開催

令和3年7月19日(月)東京・大手町 サンケイプラザにおいて、日本養鶏協会第72回定時総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症等諸般の情勢を踏まえ、可能な限り少人数の出席者での開催となりました。



冒頭、齋藤利明会長の挨拶後、筆頭副会長である杉原勲議長のもと、令和2年度事業報告、令和3年度事業計画及び収支予算の報告がなされ、下記第1号、第3号議案が原案通り、第2号議案は、原案の(1)イの(個人)会費会員のなお書き部分について「なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に鑑み、令和3年度に限り、会費額を一律20%減免する。」と修正され可決されました。第3号議案では一括採決にて理事20名・監事3名が選任されております。

- 第1号議案 令和2年度計算書類等に関する件(公益目的支出計画実施報告も含む)
- 第2号議案 令和3年度会費の賦課及び徴収方法に関する件
- 第3号議案 理事20名・監事3名選任に関する件

以上

(一社)日本養鶏協会 協会個人会員 令和3年度 会費納入のお願い

第72回定時総会で決定しました本年度年会費の請求書を発送いたしました。第1回納付分は8月31日(火)までにお振込みいただきますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



杉原 勲 新会長 就任

7月19日（月）、令和3年度第3回理事会が開催されました。

齋藤前会長の挨拶の後、議事に入り、役付き役員について理事間による互選の結果、以下の通り選任されました。

新会長	杉原 勲	氏（徳島県養鶏販売農業協同組合 代表理事組合長）
筆頭副会長	松本 義治	氏（（一社）広島県養鶏協会 会長）
副会長	米山 大介	氏（株式会社ホクリヨウ 代表取締役社長）
専務理事	浅木 仁志	氏（元農林水産省）

杉原 勲 新会長 就任挨拶

（一社）日本養鶏協会の会長に選任されました杉原勲です。

筆頭副会長として齋藤会長の補佐をしておりましたので、会長職の役割は理解しております。

養鶏業界は、中小規模の経営が圧倒的に多いのですが、中小の生産者だけでは業界運営は難しく、大規模生産者も含めたバランスの上に養鶏業界は成り立っていると考えております。

私自身もそうですが、中小規模生産者の経営が厳しいことも十分承知しておりますので、これからも中小規模生産者の支援についても尽力していきたいと思っております。

今後とも皆様のご協力をいただき、協会運営に努力してまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。





令和3年度 第1回鶏卵需給見通し検討委員会が開催される - 3回目の需給見通しに委員から活発な意見

令和3年度第1回鶏卵需給見通し検討委員会が7月21日に開催されました。冒頭、農林水産省食肉鶏卵課木下室長より、需給についてはコロナ禍のなか鶏インフルエンザの続発で引き締まっている状況。特に今後は鶏卵生産量の回復状況が重要なポイントで、刻々と需給が変化する中で生産から流通、販売の関係各位からご意見を頂き広く需給の動向を情報提供していくことは非常に重要であると挨拶。

また（一社）日本養鶏協会の杉原勲新会長は、先行き不透明な生産者の進むべき道をこの需給見通しが照らすことを期待すると挨拶。

鶏卵需給見通し検討委員会は、鶏卵生産者経営安定対策事業の中の一事業として令和2年度から始まりました。生産者へのアンケート調査も行い、既に需給見通しを2回公表し、今回で3回目の需給見通しになる予定です。

平成30年後半から低迷が続く卵価の先行き不透明感が強まったことから、生産から消費の各分野を代表する識者を委員に迎え、生産者の今後進むべき経営方針において、ある一定の将来展望を生産者に提示するという目的で検討会を始めました。

第1回目の検討会では、コロナ禍による消費動向、特に巣ごもり需要の増大と業務加工用の需要激減による需給バランスの失調が分析の中心となりました。

また、第2回目から今回にかけては、令和2年11月に発生した鳥インフルエンザによる大量の成鶏処理とコロナ禍による消費動向の2つの観点から鶏卵需給を分析することが中心となりました。

この検討会の性格上、公表される需給見通しは生産から消費までの各分野の識者の報告・見解を踏まえた包括的・鳥瞰的な見通しである点で、今までにない画期的な見通しだと自負しています。

今回は、事務局が予め用意した鶏卵需給の現状と見通しについて、各委員から専門分野の現状と将来予想への意見をいただき、予測が困難なコロナ禍の鶏卵需給について活発に意見交換がされました。

今後は、委員からの提言や意見を取りまとめて、議論を重ねて、9月末頃に生産者へのアンケート調査と併せて3回目の需給見通しとして、当協会WEBサイトに公表する予定となっています。

【お問い合わせ】

業務第2部 Tel : 03-3297-5515



令和3年度「鶏卵規格取引研修会」開催中止について (中央鶏卵規格取引協議会)

令和3年度の鶏卵規格取引研修会の開催を中止することを決定いたしました。

令和3年度の研修会につきましては、東京会場9月10日、京都会場9月24日で、会場定員の約半数の50名定員で開催する予定でご案内し、多くの皆様に受講申込を頂いていました。

協議会では7月26日に協議会構成組織である運営委員5名による運営委員会を開催し、研修会の開催の可否を協議した結果、最終的に本年度の開催を中止することを決定いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の中、政府のイベント開催ガイドラインを順守するなかで、できる限りの感染防止策を講じた上での開催を検討してきましたが、7月22日に東京都に4回目の緊急事態宣言が発令されたことも含め、感染拡大の懸念があるため、参加者の皆様の健康面と安全性を最優先に考慮した結果、上記の結論に至りました。

既に研修申込を頂きました皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、状況等をご高察の上、何卒ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

(申込いただいた皆様には、個別にE-mailでご連絡する予定です。)

なお、卵重計量責任者の資格取得等で緊急性を要する方は、下記お問い合わせ先までご相談をお願い申し上げます。

<参考>

「鶏卵規格取引要綱」(昭和46年農林事務次官通知)で定める農林水産省規格の概要

1. 対象

- ① 箱詰鶏卵 (10キログラム箱詰)
- ② パック詰鶏卵 (10個または6個詰)
- ③ 加工卵

2. パック詰鶏卵の必要表示事項

- ① 卵重種類 (SS~LL)
- ② 卵重区分 (〇g~〇g未満)
- ③ 卵重計量責任者 (研修を受けた者) ※
- ④ 名称・原産地・賞味期限・採卵者または選別包装者の氏名・住所・保存方法・使用方法

※ 農林水産省規格品には「卵重計量責任者」の記載は必須ですが、その他のパック品 (ミックス卵など) には必ずしも記載する必要はありません。

【お問い合わせ】

中央鶏卵規格取引協議会 事務局 担当：重本

Tel : 03-3297-5515 E-mail : teritama@jpa.or.jp



統計データ

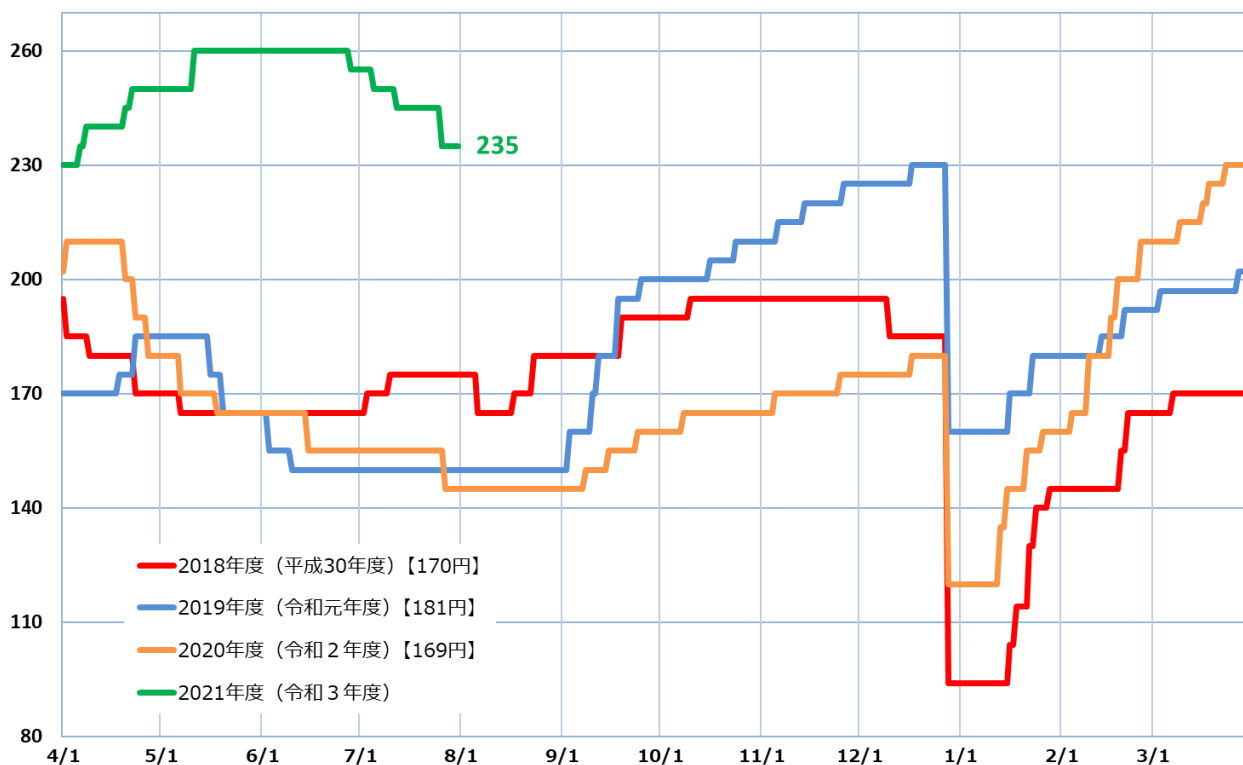
鶏卵相場動向 — 過去10年間の7月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成24年	160	183	149
平成25年	157	186	147
平成26年	190	213	179
平成27年	213	238	204
平成28年	184	213	174
平成29年	191	215	176
平成30年	173	193	159
令和元年	150	168	144
令和2年	153	175	139
令和3年	245	275	229
平均値	182	206	170

令和3年7月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値 275 円は、過去10年の平均値 206 円を 69 円上回り、安値 229 円は、過去10年の平均値 170 円を 59 円上回っています。



鶏卵相場推移 2018年度～2021年度 東京全農Mサイズ 円/kg



7月は前年同月を大幅に上回ったものの、前月末の 255 円から 7 月末は 235 円と下落傾向で推移しています。



鶏卵関係主要計数 —— 令和3年5月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
2年 6月	9,353	112.8%	470	102.9%	936	101.8%	151	160
7月	9,863	100.2%	484	98.5%	966	108.4%	150	153
8月	8,298	104.2%	444	97.2%	931	107.1%	150	145
9月	8,025	89.6%	456	101.6%	908	104.8%	179	153
10月	8,978	100.1%	489	98.4%	983	105.8%	204	164
11月	8,950	93.3%	472	96.2%	949	107.8%	219	171
12月	8,602	97.0%	529	100.4%	1,007	109.8%	227	178
3年 1月	8,518	83.9%	450	93.4%	951	115.0%	170	142
2月	8,892	104.5%	440	92.8%	920	99.4%	185	183
3月	9,040	89.4%	507	101.1%	943	93.0%	197	220
4月	9,654	103.9%	476	94.5%	978	94.4%	202	241
5月	9,183	95.6%	464	97.5%	1,004	97.4%	168	258
1年間合計 平均(%)	107,356	97.9%	5,681	97.9%	11,476	103.7%	184(平均)	181(平均)

- ・雛餌付羽数は、9,183千羽（前年比95.6%）と前年比4.4%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、464千トン（前年比97.5%）と前年比2.5%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、1,004グラム（前年比97.4%）と前年比2.6%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の90円高を示しました。

協会活動報告

鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

- ① 価格差補填事業の事業参加者との ② 令和3年度7月 標準取引価格 242.09円/kg
契約数量（トン/月当たり）

平成30年度	169,171
令和元年度	167,141
令和2年度	163,160
令和3年度	153,391

- ③ 鶏卵価格差補填事業
補填基準価格 181円/kg
安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)
Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2021年8月4日
編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)